

# 9月定例議会

# 行政報告 (1)

平成25年9月定例議会は、9月3日に開会し13日までの会期で開かれました。議会初日には、行政報告、上程された各議案の大綱質疑、また5日、6日には一般質問が行われました。9日からは、各常任委員会で付託された議案を審議し、13日の最終日に採決が行われました。

9月定例議会の行政報告の概要についてお知らせします。

## 総務部関係

### ■総務課

東日本大震災の被災地である岩手県山田町を引き続き支援するため、9月1日から12月末までの4か月の期間で、職員の派遣を行っています。平成25年度職員採用試験は、大学卒一般行政職に44人の応募があり、7月28日にノースアジア大学で第一次試験が実施されました。また、高校卒一般行政職、消防吏員の第一次試験は、9月22日にノースアジア大学で行われます。

8月8日、北秋田市として初めての「きたあきた子ども議会」を開催しました。子ども議会では、市内13小学校から、26人の子ども議員が選出され、一般質問が行われたほか、「きたあきた子ども議会宣言」が採択されました。

北秋田市民歌を制定するため、7

月1日から9月30日まで、歌詞、作曲者及び讃歌の募集を行っています。8月20日現在の応募状況は、歌詞8件、作曲者11件、讃歌0件です。

7月12日発生の大雨による被害は、住家床下浸水1棟、田・畑冠水350・9ha、道路・河川の公共土木施設8か所、農地・農業用施設15か所、林道5か所のほか、冠水等により市道13か所を通行止めしました。

8月9日発生の大雨による被害は、住家床上浸水1棟、非住家床下浸水1棟、田・畑冠水141・4ha、河川9か所、農地農業用施設26か所、米代川河川緑地1か所のほか、冠水等により市道4か所を通行止めしました。

### ■総合政策課

第29回国民文化祭あきた2014北秋田市主催事業のプレ事業として、6月9日に現代詩フェスティバルイベント「北の風土・詩作の旅」



▲プレ事業として行われた「木のアート展～北の大地に舞う赤とんぼ大作戦」

詩の小径」、6月29日、30日に第6回チエンソーアート競技大会と共催で「木のアート展」北の大地に舞う赤とんぼ大作戦」を行いました。

(仮称)北秋田市生涯学習交流施設設計業務プロポーザル実施に係る選定委員会が7月10日と7月24日に開催され、(株)青島裕之建築設計室一級建築士事務所が最優秀者に選定されました。

### ■内陸線再生支援室

秋田内陸線に関する地域懇談会が6月26日の鷹巣地区を皮切りに7地区で開催され、延べ141人の参加者が、内陸線の現状と課題等について活発に意見を交わしました。

第1回秋田内陸線支援団体情報交換会が7月28日、比立内農村環境改善センターで開催され、9団体から35人が出席し、各支援団体による協

働活動を申し合わせました。

## 財務部関係

### ■財政課

5月29日から8月13日までの工事等発注状況(500万円以上)は46件、契約額は1億9895万3千円です。

### ■税務課

7月1日現在の市民税は、納税義務者数が1万5075人、課税額が9億5181万9千円です。国民健康保険税は5929世帯、課税額が6億1941万4千円です。

## 市民生活部関係

### ■生活課

4月から7月までのクリーンリサイクルセンターへの北秋田市分のゴミ搬入量は4165トンで、前年同期比で41トン(0.99%)の増です。8月1日から10日まで、「子どもと高齢者の事故防止」を運動の重点として、夏の交通安全運動が実施されました。1日には、道の駅「たかのす」付近で、警察署、交通安全協会、交通安全母の会など約100人が参加し、通行車両の運転手に啓発品を手渡し、安全運転を呼びかけました。

市民提案型まちづくり事業は、一次募集に応募があった1団体が採択され事業実施中で、現在、二次募集を行っています。



▲献花をして遺徳を偲び、平和への誓いを新たに戦没者追悼式

「第63回社会を明るくする運動」は、7月14日の米代川花火大会会場において犯罪や非行防止のPR活動を行いました。また、7月16日には文化会館で関係機関・団体等約230人の参加の下、家庭、職場、地域社会へ犯罪や非行の防止を訴える市民集会を開催しました。

平成25年度北秋田市戦没者追悼式を8月30日に文化会館で開催しました。関係者並びに遺族会員約250

## 健康福祉部関係

### ■福祉課

国民健康保険は、7月中旬に医療費通知を送付し、本人の医療費の全像を把握していただくとともに、医療費についての理解を深め、適正化につなげるよう努めました。

### ■市民課

人が参列して、北秋田市関係戦没者1700人余りの英霊の遺徳を偲び、黙とう・献花を行い平和の誓いを新たにしました。

北秋田市要保護児童対策地域協議会の代表者会議を7月12日に開催し、医療、教育、警察、福祉関係機関の代表者15人の委員を委嘱しました。

### ■高齢福祉課

地域支援事業における二次予防事業対象者把握事業は、65歳以上の調査対象者約1万480人に対してアンケート方式のチェックリストを配布していますが、7月31日現在の回収数は6699件で率は64%です。その内、要介護状態となるおそれのあると認められた方については、「健康づくりシニア」として通所型・訪問型介護予防事業への参加を勧めています。地域からの要望に応じて行っている出前介護予防教室は、7月未までの開催回数が23回で、412人が参加しました。

包括的・継続的支援事業は、認知症の方が年々増加している現状をふまえ、市では、6月25日に初めての試みとして、認知症サポーターキアラバン・メイト養成講習会を開催しました。講習会は、地域で認知症を正しく理解し支援する認知症サポーターを養成するため、市民に認知症の基礎知識を伝える講師役(キャラ

バン・メイト)の養成研修で、介護関係者や行政関係者35人が受講しました。ひまわりの家活用検討委員会は、8月6日に開催した第3回検討委員会をもって、会議を閉じることとなりました。今後の施設の活用については、9月末を目処に市の最終的な考えを県に伝えます。

### ■医療推進課

北秋田市地域医療連携センター運営協議会は、7月26日に第1回目を開催しました。協議の内容は、昨年度の活動実績の報告と本年度の事業計画について説明しました。

### ■診療所

4月から7月までの市立3診療所の外来患者数は、阿仁診療所では、内科2874人で前年同期比409人の減、外科3495人で前年同期比2人の増、歯科1199人で前年同期比60人の減。合川診療所では、4248人で前年同期比696人の減。米内沢診療所では、内科5813人で前年同期比428人の減、小児科545人で前年同期比21人の増、整形外科1318人で前年同期比259人の減、脳血管外科358人で前年同期比13人の減、心臓血管外科82人で前年同期比8人の減です。

### ■健康推進課

健康の受診状況は、特定健康診査



▲よりよい食習慣の定着を目的に開催している食育推進事業